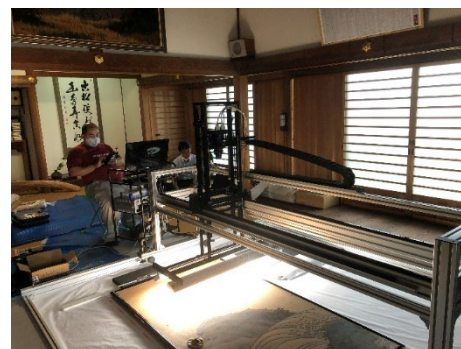
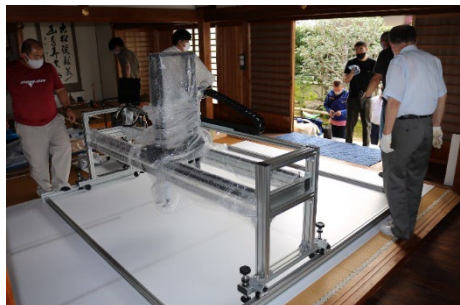


事業実績 先端技術を用いた亀岡市周辺社寺等の文化財コンテンツ開発・展示

(1) 高精細画の撮影

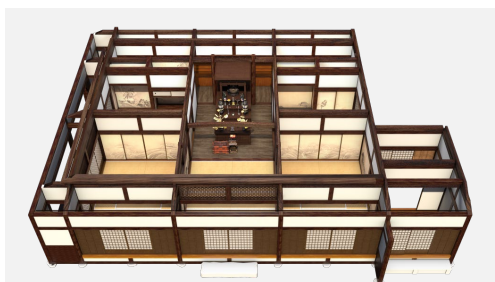
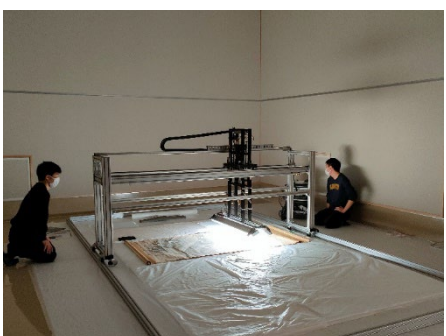
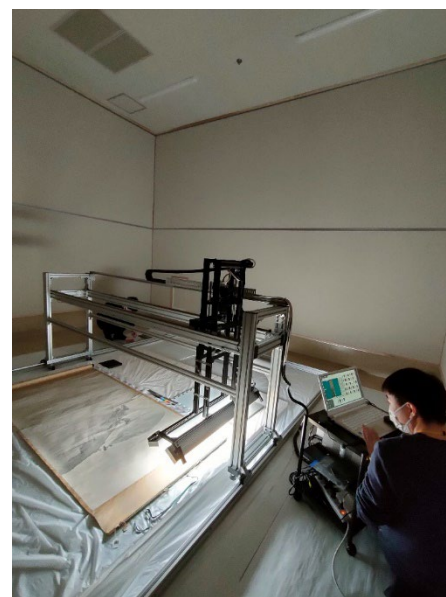
①如意寺所蔵の襖絵

令和3年9月29日から30日 亀岡市内の如意寺にて、襖絵を撮影しました。非接触型大型スキャナー（ラインセンサー）により、資料を平面に置いた状態で撮影できます。



②金剛寺所蔵の掛軸

令和3年12月6日から10日 亀岡市内の金剛寺から東京国立博物館に寄託されている円山応挙筆「山水図」・「波濤図」を同館にて撮影しました。こちらも非接触型大型スキャナー（ラインセンサー）によって高精細画を撮影し、その画像を用いてCGやVRに利用することができます。

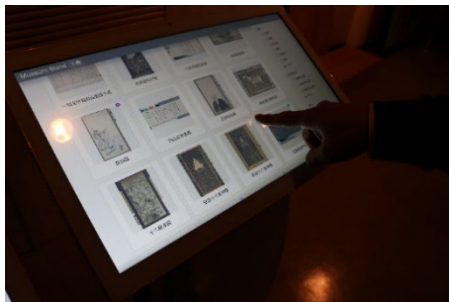


(2) 先端技術を用いた亀岡市周辺社寺等の文化財コンテンツ開発

① 超高精細・高速配信システムの導入

高精細画像などのデータを蓄積することで、分野別の検索と見たい資料を手元で拡大して詳細に見ることができます。

多言語対応として、日本語・英語・中国語で表記されます。



② 「先端技術を用いた亀岡市周辺社寺等の文化財コンテンツ開発・展示」事業報告会「これからの博物館を考える亀岡モデルから」

令和4年3月23日 超高精細・高速配信システム技術の紹介と構築方法について報告会を開催しました。

「最先端技術（AR・VR・高精細画像）を駆使した魅力発信の取り組みについて」 参加者70名

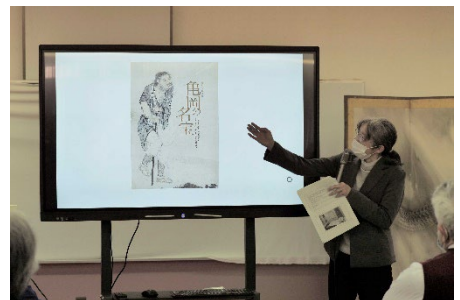
講師：鶴飼均（亀岡市デジタルミュージアム促進協議会長・亀岡市文化資料館長）



「先端デジタル技術と地域創造
～亀岡市モデル事業紹介」

講師：井手亜里（一般社団法人
先端イメージング工学研究所代
表理事）

文化財の保存保護だけではなく、
デジタル技術を使った活用



として、教育、観光促進、横のつながりを重視した地域創成、文化拠点の連携について、デジタル先端技術とその実例および亀岡市の地域連携について紹介。



「超高精細・高速配信システム技術紹介と構築方法」

講師：赤坂輝実（株式会社アトリサーチ代表取締役社長）

亀岡市文化資料館が中心になり、京都府下の大学、企業の協力、文化庁の支援で資料をデジタル化し、解説を付け加え、デジタル配信システムの開発を指導したことから、全般的な技術、超高精細・高速デジタル配信システムの詳

細について紹介。

また、超高精細・高速配信システム技術による画像閲覧のデモンストレーションを行いました。

